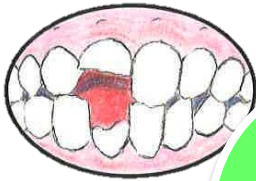


# 歯牙外傷の対応

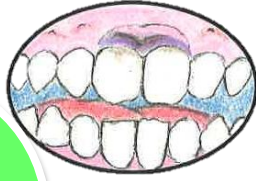
## 歯の破折

歯冠が欠けたり、折れてしまった状態。



## 歯の動揺

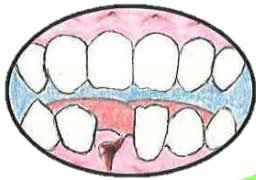
歯が大きぐらついている状態。歯茎の中で、根が折れている場合もある。



## 外傷の種類

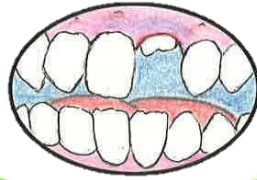
## 歯の脱落

歯が完全に抜けて落ちてしまった状態。



## 歯の埋入

歯が歯茎の中にめりこんでいる状態。根の周りの骨が折れている場合もある。



## 観察のポイント

- ① けがをした時の状況を把握する
- ② 意識消失や顔面・頭部等の外傷の有無を確認する
- ③ 口内の傷や痛み、損傷歯以外にグラグラしている歯がないかを確認する
- ④ 折れた歯や抜けた歯の所在を確認する
- ⑤ 異常が見られなくともかみ合わせを確認する

## 再植率を上げるための処置

### ポイント①

折れた歯を※歯牙保存液(ない場合は精製水や生理食塩水)に保存し、乾燥させない



### ポイント②

可能な限り早急に歯科医による適切な処置を受けさせる



※水道水で洗わないこと。  
軽く歯牙保存液で洗い流すこと。

※折れた歯に触れるときは歯の根元を手で触らない。歯冠部を持つこと。

脱落した歯が再植できるかどうかは歯根に着的歯根膜細胞が生きていることが重要です。

※冷たい牛乳は保存液の代用になりますが、食物アレルギー対応を配慮し、使用は勧めておりません。